

第3次新潟市花育推進計画の施策方針（案）

＜新潟市の花きをめぐる状況＞

- 花きの算出額は171億円と5年で約半減
新潟市の農業産出額（千万円、%）

	2014	2018	2019	増減率
花き	325	245	171	△47.4

【出典：農林水産省「生産農業所得統計」】

- 花き・花木経営体の減少【出典：農林業センサス】
- チューリップ切り花の出荷量は日本一
- 花き（鉢もの類）の出荷量は日本一
【出典：2006農林水産関係市町村別統計（農林水産省）】

- 「食と花の銘産品」の認知度はチューリップ60%強、その他は20%以下（2013）
- 「花・花木」に誇りや愛着を感じているのは57.9%（2021）【出典：市政世論調査】
- 花育マスターの登録は個人79、団体1
- 花育マスターによる花育講座参加者4,294名（2020）
- 食育・花育センターの花育関連講座の受講者1,698名（2020）
- 保育園、幼稚園、小学校の地域と連携した花育活動実施率47%（2020）
- 「花育の日」協力の花き小売店25社38店舗
- 「花育通信」の発行は年3回6,000部
- 「花育俳句」応募811人1,205句（2021）

- 新型コロナウイルス禍で切り花の冠婚葬祭需要が減少した一方、切り花の家庭消費が増加
- 切り花の1世帯当たり年間購入額8,223円
【出展：2020家計調査】
- 新潟産の花を贈ろうキャンペーン実施 年3回
- にいがたフラワーマルシェ参加者1,800名（2021）

産業

文化

需要

＜主な施策の方向＞

花きの文化の振興

＜公共施設及びまちづくり等における花きの活用＞

- 公共施設や道路用地での緑化活動推進事業の実施
- にいがた2kmを核とした緑化イベントの開催
- 庁舎、学校、図書館等の公共施設での花きの活用推進
- 高齢者、児童、社会福祉施設などにおける花きの活用の促進

＜花きを活用した教育及び地域における花きを活用した取組みの推進＞

- 食育・花育センターでの「花育」関連講座や団体プログラムの充実
- 保育園・認定こども園、幼稚園、小学校での「花育」活動の実施
- 農村地域での植栽による景観形成等への取組み
- 花育推進に係る人材の育成・支援と活躍の場づくり
- 消費者が新潟の花き生産者や流通の現場から学ぶ講座の開催
- 「花育」に関する情報発信
- SDGsを意識した「花育」プログラムの開発・実施

＜日常生活における花きの活用促進＞

- 花き生産、流通、小売店との協力による「花のある暮らし」提案展示
- 花きのもつ科学的効能の普及推進

花きの需要の増進

- 花き小売店と連携した「花育の日」・「花育月間」の取組み
- 新潟産の花を贈ろうキャンペーンの展開
- SNSの活用等による消費者ニーズを踏まえた商品情報の提供
- いくとぴあ食花での市民参加型の花育イベントの開催
- 新潟市園芸作物販売戦略会議による園芸作物の生産拡大・販路開拓

産地として「花」を市民が知り、楽しみ、交流することで
ふるさとへの誇りや愛着がふくらみ、
花き産業が持続可能な花開く未来を描ける新潟市